

## 東京都の教育改革の動向 都立高校改革推進計画・新たな実施計画を策定

東京都立蔵前工業高等学校長  
浅岡 廣一

東京都教育委員会は、都民にとって魅力ある学校づくりを進めるため、平成9年9月に都立高校改革に関する長期計画である「都立高校改革推進計画」を策定した。この計画の実現に向けた具体的な計画である「第一次実施計画」（9～11年度）及び「第二次実施計画」（12～14年度）に基づき、都立高校改革が進められてきた。

平成14年10月、これらの計画策定後の教育を取り巻く環境の変化を踏まえ、都立高校改革の締めくくりとなる「新たな実施計画」－日本の未来を担う人間の育成に向けて－を策定した。

新たな実施計画は、特色ある学校の設置等のハード面の改革と学校経営計画の策定はじめ、学校経営の視点に立ったソフト面の改革を一体化するとともに生徒の個性や創造性を伸ばす教育の推進や地域との連携、教育諸条件の整備等の施策を盛り込んでいる。

計画の概要を紹介する。

### 1. 都立高校改革推進計画の性格

都立高校改革推進計画は、生徒の多様化や少子化に伴う生徒数の減少への対応等、都立高校が抱える課題の解決を図り、今後の展望を明らかにする都立高校の改革に関する総合的な計画である。

平成9年度を初年度として、平成18年度ま

での10年間を計画期間としている。ただし、都立高校の規模と配置の適正化については、平成23年度までを視野に入れて、平成9年度から平成18年度までに、統合・改編等に着手するものを計画化している。

都立高校推進計画は、都立高校全体の今後の目指すべき方向を明らかにするものであり、各学校においては、その展望と方向に沿って、自校のあるべき姿を考え、その実現のための改革・改善に積極的に取り組むことが必要である。

### 2. 都立高校改革推進計画策定後の状況の変化

都立高校改革は、生徒の多様化や少子化に対応する中で策定されたが、計画策定後、次のような状況の変化が生じてきている。

(1) 経済・社会のグローバル化の進展

(2) 情報技術革命の進展

(3) 教育環境の変化

ア 学習指導要領の改訂

イ 東京都教育委員会の教育目標の改定

ウ 中高一貫教育校への期待の高まり

エ 学区の廃止

### 3. 新たな実施計画の基本的な考え方

(1) 都立高校の課題

ア 社会の変化に対応できる人間の育成

イ 生徒の多様化への対応

- ウ 都立高校の経営体制の強化
  - エ 地域の教育力の活用とパートナーシップの強化
- (2) 改革の基本的な方向
- ア 日本の未来を担う人間を育成する教育の推進
  - イ 生徒の多様な希望に応える学校づくり
  - ウ 都民に信頼される学校経営の確立
  - エ 地域とのパートナーシップを築く学校づくり
  - オ 少子化時代の質の高い教育の場の確保

#### 4. 日本の未来を担う人間を育成する教育の推進

##### 1. かけがえのない存在を目指す教育の実現

(1) 一人ひとりの豊かな個性や創造性を伸ばす教育の推進

一人ひとりの豊かな個性や創造性を伸ばす教育の一層の推進を図ることにより、一人ひとりが社会の様々な分野でかけがえのない存在となることを目指す。

- ア 個性や創造性の伸長を図る教育の推進
- イ 新しいタイプの学校のカリキュラム検証
- ウ 志や使命感を高める教育の推進
- エ 教養教育の研究開発

(2) 世界の中の日本人としてのアイデンティティを育てる教育の推進

日本や世界の文化・伝統に触れる機会の充実を図り、郷土に対する愛着や誇りをはぐくむとともに、多様な文化に対する理解を深め、世界の中の日本人としてのアイデンティティを育てる教育を推進する。

(3) 系統的なキャリア教育を通じた在り方生き方に関する教育の推進

生涯学習の視点に立ち、自らの生き方を主体的に決定できる能力や態度を育成できるようキャリア教育を通じた在り方生き方に関する教育を推進する。

##### 2. 豊かな人間性の育成

(1) 人権尊重の精神と社会貢献の精神を育成する教育の推進

(2) 思いやりと規範意識を涵養する教育の推進

(3) 感性を高め、豊かな情操をはぐくむ教育の推進

##### 3. 学ぶ力のはぐくみと確かな学力の向上

(1) 基礎的・基本的な学力の着実な定着  
習熟度別学習指導等を実施して、基礎的・基本的な内容の着実な定着を図るとともに、自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」の育成を図る。

(2) 学ぶ力をはぐくむ教育の推進

多様な選択科目を開設するなどして、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力をはぐくむ。

(3) 個に応じた教育課程の編成

学校間連携の推進、高校生の大学等における体験学習の推進、年間授業計画の公開、生徒による授業評価等を通じ、生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう個に応じた指導の充実を図る。

(4) ITを活用した教育の推進

ITを活用して学習指導方法や学び方の新たなスタイルを研究する学校を普通科の高校の中から「ITを活用した教育推進校」として指定する。

(5) 学力向上への対応と進学対策の充実

生徒や保護者の期待に応えるため、進学を重視する単位制高校を設置する。進学指導研究協議会の開催等を通じ、各学校における学力向上への対応と進学対策の充実を図る。

(6) 特色ある専門教育の展開

特色ある専門教育を展開し、社会の変化に柔軟に対応するとともに、都民のニーズや生徒の希望に応じた教育活動を推進する。

ア 専門高校における多様な教育活動の展開

イ 普通科高校等における専門教育の充実

ウ 東京版デュアルシステムの導入

エ 産業高校（仮称）の設置

#### 4. 生きる力の基盤となる健康・体力づくりの推進

生徒一人ひとりが自らの可能性を信じ、自己実現を目指して力を発揮するために必要な健康や体力づくりを推進する。

### 5. 生徒の多様な希望に応える学校づくり

#### 1. 中高一貫教育校の設置

東京には私立の事実上の中高一貫教育校が多数あり、着実な成果を上げている。公立の中高一貫教育校が設置されていないため公立学校で中高一貫教育を受けたいという子どもや保護者の希望に応えることができない。子どもや保護者が一般の中学校・高等学校または中高一貫教育校のいずれをも選択できるよう中等教育の複線化を図り、公立の中高一貫教育校の整備を進める必要がある。

##### (1) 中等教育学校・併設型中高一貫教育校

都立の中等教育学校・併設型中高一貫教育校を設置し、教養教育を重視した中高一貫教育を行う中で、社会の様々な場面、分野において人々の信頼を得てリーダーとなり得る人材を育成していく。

##### (2) 連携型中高一貫教育校

既存の都立高等学校と区市町村立中学校との間で、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める形で行う連携型中高一貫教育を実施する。

#### 2. 普通科高校の改善

##### (1) 進学指導重点校の指定

進学実績の向上を目指し、進学指導の在り方の研究開発に熱意を有し、過去の進学実績及び進学指導の組織的取組が評価できる都立

高校の中から「進学指導重点校」を指定している。

##### (2) 中堅校の特色化・活性化

学校経営計画の策定等を通じ、特色化・活性化に向けた自律的な改革を進める。

##### (3) エンカレッジスクールの指定

基礎学習を中心に体験学習や選択授業を大幅に取り入れる学校を指定する。

##### (4) コース制の改善

#### 3. 専門高校の改善

##### (1) 社会の変化に対応した専門高校の個性化・特色化

産業構造・就業構造の変化に対応した専門高校の個性化・特色化を目指し、学科改善等を通じて取り組む。

##### (2) 進学指導の充実・大学の推薦枠等の拡大

専門高校卒業後も縦続して学ぶ機会を充実させるため、進学に向けた教育課程の編成等を通じて、大学等への進学を可能にする条件整備を行う。

##### (3) 地域・社会、企業等との連携及び就業体験の実施

就業体験等を通じ、地域・社会の教育力を導入するとともに、開かれた学校づくりを推進していく。

##### (4) 新たなタイプの専門高校の設置

産業界のめまぐるしい変化や生徒の多様なニーズに応じて、既存の専門高校の改編を進め、専門高校の個性化・特色化を図るとともに新しいタイプの専門高校の設置を進める。

##### ア 産業高校（仮称）

生産・流通・消費の基礎と相互の関連を学んだ上で、自己の進路希望に沿った専門学科を学び、広い視野と確かな職業観を備えた人間や、商工業の知識をもとに、将来自ら起業を目指す、志溢れる人間の育成を目指す。

#### イ 科学技術高校

技術者として生涯にわたり専門性を高めていくために必要な意欲・態度や知識・技術を身に付け、技術革新に主体的に対応できる人材を育成する。

#### ウ 単位制の専門高校

多様な科目の開設、柔軟で弾力的な履修形態、生徒の主体的な科目選択による学習などの特色をもち、一人ひとりの生徒の個性や能力を伸ばし、様々な進路希望や学習希望に応える学校である。

#### エ 東京版デュアルシステムの導入

企業と高校の連携により、従来のインターンシップよりも長期の終業訓練を取り入れた新しい実践的な教育を行う「東京版デュアルシステム」を専門高校に導入する。学校と企業とが協議の上、作製した就業プログラムによる就業訓練を、週2～3日あるいは月・週単位といった長期にわたって実施することにより、卒業後の就業に役立つ実践的な技術・技能を身に付ける。

#### 4. 定時制・通信制課程の改善

##### (1) 多様な教育活動の展開

##### (2) 昼夜間定時制独立校の整備拡充

#### ア チャレンジスクール

小中学校時代に不登校の経験をもつ生徒や高校の中途退学者等を主に受け入れる単位制・総合学科の昼夜間定時制独立校として設置する。三部制の開校とし、3年間で卒業が可能な学校とする。

#### イ 新しいタイプの昼夜間定時制高校

単位制・普通科の昼夜間定時制高校とし、3年間で卒業が可能な学校とする。

#### ウ 定時制の単位制高校

##### (3) 修業年限の弾力化

生徒の就業状況の変化や学習希望の多様化

に対応し、3年間で卒業することが可能な教育課程を編成する。

##### (4) トライネットスクールの設置

学習意欲のある者が「だれでも学べる」高校教育のセーフティーネットの機能を果たす学校、インターネット等の情報通信技術の活用により「いつでもどこでも学べる」学校、都立高校等とのネットワークの活用により「多様な内容を多様な方法で学べる」学校という3つの「ネット」を柱とする新しいタイプの単位制の通信制高校であるトライネットスクールを設置する。

#### 5. 新しいタイプの高校の設定等

##### (1) 中高一貫教育校

##### (2) 国際中等教育学校

個としての自己の確立を図り、主体的に考え、判断し、行動できる国際人を育成することを目指しつつ、中等教育学校の教育課程の基準の特例を生かし、6年間を通して、国際社会で自分の考えや意見を表現できる理論的思考力・表現力を育成する教育を行う。

##### (3) 総合学科高校

普通教育と専門教育を総合的に行う学校である。自己の進路への自覚を深めることができる科目など幅広い多様な選択科目を開設する。生徒の個性を生かした主体的な選択や実践的、体験的な学習を重視し、多様な能力・適性等に対応した柔軟な教育を行う。

##### (4) 単位制高校

##### (5) 科学技術高校

##### (6) 産業高校（仮称）

##### (7) 進学型商業高校

##### (8) 体育・福祉高校

##### (9) 総合芸術高校

##### (10) チャレンジスクール

##### (11) 新たなタイプの昼夜間定時制高校